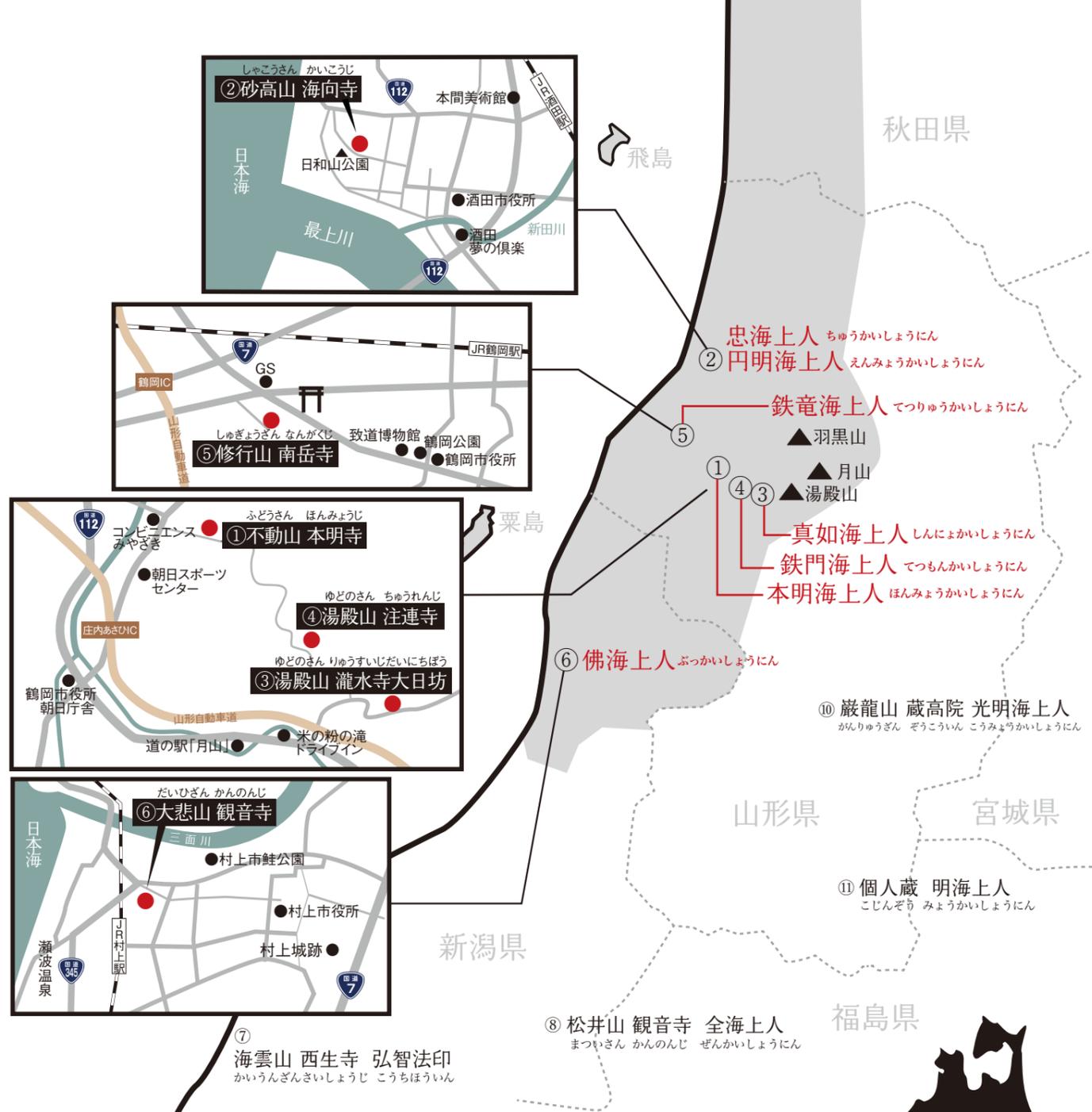




soku-shin-butsumaru

# 神秘なる羽越の聖地へ 即身仏をめぐる旅



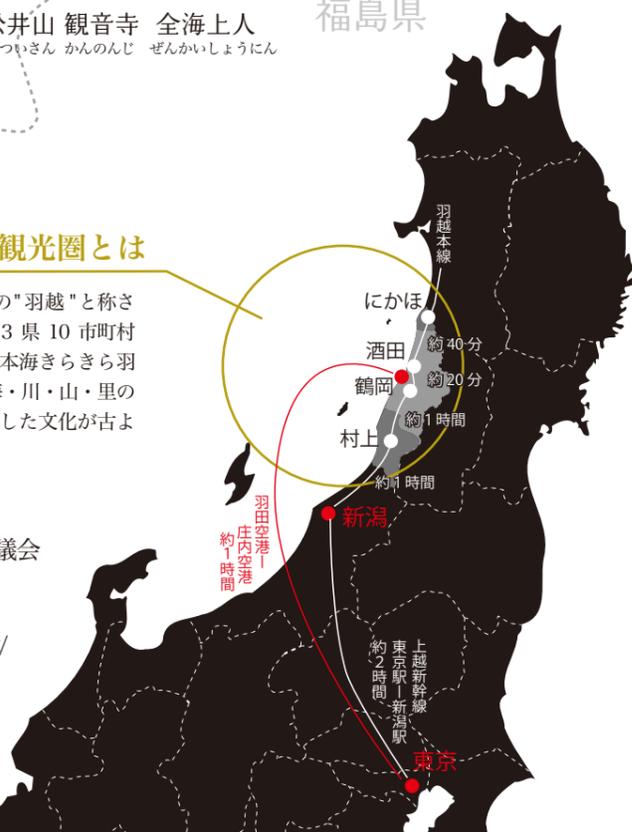
## 日本海きらきら羽越観光圏とは

日本海の風光明媚な海岸沿いの「羽越」と称される秋田県、山形県、新潟県の3県10市町村のエリアで形成されている「日本海きらきら羽越観光圏」。このエリアには、海・川・山・里の広大な自然が揃い、風土に根ざした文化が古より織りなされています。

日本海きらきら羽越観光圏推進協議会  
(庄内観光コンベンション協会内)

〒997-1392 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東 19-1  
☎0235-68-2511 <http://www.kirakirauetsutabi.net/>

日本海きらきら 検索



## 即身仏とは

飢饉や病に苦しむ人々を救済するために、自ら土中に入って仏となる「即身仏」。

即身仏になるには、山に籠り、1000日から5000日かけて五穀(米・麦・豆・ヒエ・粟)を断ち、山草や木の実だけの木食行を行い、肉体の脂肪分を落とします。そして死期が近づくと、土の中の石室あるいは穴に籠り、鐘や鈴を鳴らして仏の名を唱えながら息絶えます。掘り返すのは死後3年3カ月を経てから。若干の手当が施され、乾燥させてから、即身仏として安置されます。

日本国内に十数体現存するといわれる即身仏は、「日本海きらきら羽越観光圏」内の6つの寺院に7体安置されています。



羽越の即身仏めぐり

聖なる  
即身仏をめぐる  
出羽と越後の巡礼路

人々の苦しみを未来永劫に救うため  
自らの身を捧げた 聖なる7体の仏のもとへ

地図①

本明海上人

本明海上人は、元和9(1623)年に庄内藩主酒井忠勝の家臣・斉藤徳右エ門の息子として誕生しました。自らも家臣として仕えていた頃、藩主が大病を患ったため代参として湯殿山仙人沢に籠って祈祷すると、靈感が宿り、藩主の病が治りました。それを機に本明海上人は寛文元(1661)年に40歳で出家。仙人沢で4000日の山籠と木食行を行いました。寛文9(1669)年からは東岩本で苦行を重ね、延宝元(1673)年に本明寺本堂と即身堂を新築。天和3(1683)年に土中入定し、即身仏とされました。このような経緯から、当寺は旧庄内藩主酒井家の祈願道場となっています。

不動山 本明寺



山形県鶴岡市東岩本字内野 388  
☎0235-53-2269  
拝観料/無料  
拝観は予約してください

地図②

忠海上人

元禄10(1697)年、山形県鶴岡市鳥居町の富樫条右衛門家(庄内藩の武家)に生まれた忠海上人。海向寺中興初代住職として、延喜3(1746)年に当山の中興を成し遂げました。50歳に至ると、人々の苦しみを救い、願いを叶えるために自ら木食行者となって即身仏になれることを決意され、難苦行の道へ。宝暦5(1755)年2月21日、58歳で土中入定し、即身仏とされました。

円明海上人

明和4(1767)年、山形県東田川郡栄村家根合(現山形県庄内町)の佐藤六兵衛家に生まれた円明海上人は、海向寺九世住職を経て、50歳で即身仏になることを決意されました。湯殿山仙人沢に籠り、五穀断ち・十穀断ちの難苦行に耐え、文政5(1822)年5月8日、55歳で土中入定し、即身仏とされました。なお、当寺は全国で唯一、2体の即身仏をお奉りしています。

砂高山 海向寺



山形県酒田市日吉町 2-7-12 ☎0234-22-4264  
拝観時間/9:00~17:00(4月~10月)  
9:00~16:00(11月~3月)  
定休日/火曜日(祝日は拝観可)、1月1日~3日  
拝観料/大人400円、小中学生200円  
(20名以上は団体割引あり)

地図③

真如海上人

貞享4(1687)年、山形県の旧朝日村越中山で農家の長男として生まれた真如海上人。純真な性格の持主として育ち、幼い頃から仏門に帰依し、一生を捧げてこの世を不公平のない仏の国にしたいと願っていました。

湯殿山大権現を信仰し、当寺大日坊を拠点として各方面の教化につとめ、寺を建て慈悲を施して社会福祉に勤められたため、徳望一世に高く生き仏として多くの人々より尊ばれました。一世行人を誓い、生身のまま土中に入定するまで70余年の長い間、難行苦行を積み重ね、天明3(1783)年、96歳で土中入定し、即身仏とされました。

湯殿山 瀧水寺大日坊



山形県鶴岡市大綱字入道 11  
☎0235-54-6301  
拝観料/大人500円  
団体450円(30名以上)  
中学生400円 小学生300円  
拝観時間/8:00~17:00(受付16:30まで)

地図④

鉄門海上人

宝暦9(1759)年、山形県鶴岡市で生まれた鉄門海上人は、21歳で出家し、湯殿山仙人沢で修行を重ねました。

その後、人々が往来に難儀している加茂坂に新道をつくり、また眼病が流行していた江戸では、自分の左眼を隅田川の龍神様に捧げて祈願しました。そのため恵眼院鉄門上人と呼ばれるようになりました。

上人の布教は庄内を中心に北海道から関東までおよび、多くの人々の信仰を集めました。また、行者の神様と呼ばれ、各地に上人の石碑が建立されています。衆生救済に生涯を捧げられた鉄門海上人は、文政12(1829)年、71歳で即身仏とされました。

湯殿山 注連寺



山形県鶴岡市大綱字中台 92-1  
☎0235-54-6536  
拝観料/大人500円 中人400円  
小人300円  
拝観時間/5月~10月9:00~17:00  
11月~4月10:00~16:00

地図⑤

鉄竜海上人

文政2(1819)年に秋田県の仙北町(現・大仙市)の進藤家に生まれた鉄竜海上人は、湯殿山注連寺の末寺である南岳寺に入門し、注連寺などで修行をしました。嘉永年間(1848~1854)に南岳寺が焼失したのを機に戻り、寺を再建。後の師である鉄門海上人が発案した加茂坂工事では責任者となって難工事を完成させました。55歳で即身仏を志し、湯殿山仙人沢に籠って1000日の木食行や難行苦行を達成。明治14(1881)年、62歳で入定されました。

なお、当寺には最高裁判所で超能力を認められた長南年恵の霊堂もあり、昭和の火災時には本尊と即身仏のみ無事だったという出来事がありました。

修行山 南岳寺



山形県鶴岡市砂田町 3-6  
☎0235-23-5054  
拝観時間/8:30~16:00  
定休日/1月2日、5月13日  
拝観料/大人400円  
小人200円

地図⑥

佛海上人

佛海上人は、文政11(1828)年5月9日に新潟県村上市安良町の近藤家の長男として生まれました。18歳で湯殿山注連寺に入門し、本明寺でも修行。その間15年に渡って仙人沢で荒行を重ね、伊豆天城山や酒田の海向寺でも修行をおこないました。

35歳の時、五穀絶ちの木食行をはじめ、慶応3(1867)年37歳で本明寺の住職となり、明治7(1874)年に村上の観音寺に戻ります。

明治21(1888)年5月、注連寺が全焼したため注連寺の住職となって寺を復興。再び故郷へ戻り、明治36(1903)年に76歳で入定しました。41年にわたる苦行を成し得た、日本最後の即身仏です。

大悲山 観音寺



新潟県村上市肴町 15-28  
☎0254-52-4707  
拝観時間/8:30~17:00  
拝観料/無料

即身仏は「日本海きらきら羽越観光圏」の周辺にも、安置されています。

【地図⑦】 海雲山 西生寺 弘智法印

【地図⑧】 松井山 観音寺 全海上人  
※御開帳は7/8のみ

新潟県長岡市寺泊野積 8996  
☎0258-75-3441

新潟県東蒲原郡阿賀町豊実甲 1779  
☎0254-52-2228(長楽寺)

【地図⑨】 妙廣山 真珠院 秀快上人

【地図⑩】 巖龍山 蔵高院 光明海上人

新潟県柏崎市西長島甲 502  
☎0257-25-3301

山形県西置賜郡白鷹町黒鴨 544-1  
☎0238-85-1131

【地図⑪】 個人蔵 明海上人

山形県米沢市築沢  
☎090-7069-8688